

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	小森康司
2. 研究課題名	<p>肛門温存困難な肛門近傍の局所進行下部直腸癌に対する術前術後FOLFOX療法併用肛門括約筋部分温存手術(ISR)のランダム化第 / 相 比較試験</p> <p>【付随研究】肛門近傍の局所進行下部直腸癌に対する術前FOLFOX療法の治療反応性予測に関する研究</p>
3. 研究の概要	<p>術前FOLFOX療法の効果を治療前に予測可能か明らかとすること、すなわち治療前内視鏡下生検組織内における幹細胞マーカーや血管新生因子(CD133、COX-2等)の発現、あるいは宿主反応としてのCD8陽性リンパ球の腫瘍内密度の程度などが、術前FOLFOX療法の効果を予測するパラメーターとなりうるか明らかにすることを目的とする。(本研究は平成24年度国立がん研究センターのがん研究開発費の研究である「手術手技の最適化による標準治療確立のための多施設共同研究(23-A-26)」(主任研究者 小菅智男)のなかの個別研究「肛門温存困難な肛門近傍の局所進行下部直腸癌に対する術前術後FOLFOX療法併用肛門括約筋部分温存手術(ISR)のランダム化第 / 相 比較試験」(代表者 齋藤典男)の付随研究(代表者 長谷和生)として行われる。)</p> <p>(個人情報利用の目的)</p> <p>(診断・治療内容・予後の状況等を使用しますが、データ上ではすべての患者様は匿名化(任意の識別番号を付与)されており、お名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることはありません。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担が生じることはありません。)</p> <p>研究期間:平成25年4月から～平成30年7月 (遺伝子解析:—行う 行わない)</p>
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容(病理学的所見)</p> <p>対象収集期間 平成25年4月1日～平成28年1月31日</p>
5. 使用する検体	<p>検体名(治療前内視鏡下生検組織)</p> <p>検体採取時期 平成25年4月1日～平成26年1月31日</p>
6. 病名	直腸癌

この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい
場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

お問い合わせ

愛知県がんセンター経営戦略室 企画・経営グループ
主査 坂 弦二郎
住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
FAX : (052-764-2963)
e-mail: genjirou_ban@pref.aichi.lq.jp
(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)